

2008年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

記入日 21年 1月15日

1. 概要

実践団体名	安田学園高校 建築クラブ		
連絡先	03-3624-2666		
プランタイトル	防災力を高める (地元地域の防災強化、高校生の防災知識の習得、地域住民の防災意識の定着)		
プランの対象者	高校生・地域住民・社会人、一般	対象とする 災害種別	地震

【プランの目的・ここがポイント！】

地域や専門家との連携により、多くの木造耐震診断を行い、子どもたちが将来の防災の担い手として活躍してもらおう。

【プランの概要】

- ・今年得た知識を元に、さらに充実した木造耐震診断を行う。
- ・プレゼンテーション、成果発表を行い、多くの地元地域の方々に理解を得る。

【期待される効果・ここがおすすめ！】

- ・高校では防災という科目が無く、教える機会がないため、木造耐震診断を行うことにより実践活動を通じて防災に関する知識を吸収し、意識を高めることができる。
- ・プレゼンテーション、成果発表を行うことにより、地域住民や一般市民の方への防災意識が高まる。

2008年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

2. プランの年間活動記録

	プランの 立案と調整	準備活動	実践活動
2008年 6月	すみだ耐震協を通じて菊川1丁目を紹介していただく	・菊川1丁目会館の木造耐震診断実施	
2008年 7月		・菊川1丁目会館の木造耐震診断データ解析	
2008年 8月			
2008年 9月	パネル作成用データ、写真整理	耐震活動のパネル作成	・菊川1丁目会館の木造耐震診断結果をプレゼンテーション
2008年 10月		耐震活動のパネル作成	
2008年 11月	すみだ耐震協を通じて八広3丁目を紹介していただく	・八広3丁目全域の木造住宅の外観調査	・学園祭、東京都工高生作品展に耐震活動のパネルを展示
2008年 12月		・八広3丁目全域のデータ整理	
2009年 1月			・八広3丁目丸ごと診断結果及び木造耐震診断の斡旋チラシを町内に配布

2008年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

3. 実践したプランの内容と成果

【実践プログラム①】

タイトル	菊川1丁目会館木造耐震診断
実施月日（曜日）	
実施場所	墨田区菊川1丁目
担当者または講師	担当者・講師等の区分：担当者 氏 名：榎本吉晃 所属・役職等：安田学園 教諭
所要時間または「コマ数×単位時間」	20時間
プログラムのカテゴリ、形式	クラブ活動
活動目的	※別紙「記入上の留意点」注4の項目から選択記入する。
達成目標	木造耐震診断を行い、プレゼンテーションを行う。
実践方法・進め方（箇条書き、またはフロー）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 木造耐震診断を行う 2. パソコンソフトを使って解析を行う 3. 補強案を考える 4. 町会長へ補強案をプレゼンテーションする
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄筋センサー ・ メジャー ・ レベル ・ 方眼紙 ・ ホワイトボード ・ デジカメ ・ 耐震ソフト
参加人数	8名
経費の総額・内訳概要	5万円程度・耐震機器、交通費、資料作成費
成果と課題	<p>【成果】町会長へ補強案をプレゼンテーションすることが出来、町会長も耐震補強を検討するとのこと。</p> <p>【課題】間取りを見ながら製図を描く際、図面がないため、筋かいの位置の確定が難しかった。</p>
成果物	耐震診断結果報告書

2008年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

【実践プログラム②】

タイトル	学園祭にてパネル展示
実施月日（曜日）	11月2日～3日
実施場所	安田学園
担当者または講師	担当者・講師等の区分：担当者 氏 名：榎本吉晃 所属・役職等：安田学園 教諭
所要時間または「コマ数×単位時間」	
プログラムのカテゴリ、形式	クラブ活動
活動目的	カ：防災に関する知識を深める
達成目標	在校生、一般の方々に耐震の必要性を理解してもらう
実践方法・進め方（箇条書き、またはフロー）	1. 写真、図表などの資料集め 2. プレゼンテーションソフトにてパネル化 3. 建築クラブ展のブースにて展示
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	・ プレゼンテーションソフト ・ 大判プリンタ ・ パネル
参加人数	5名
経費の総額・内訳概要	10万円程度・プロッター用紙、インク、パネル
成果と課題	【成果】耐震補強の大切さ、重要性を表現することが出来た。 【課題】より多くの人々に見てもらう必要がある。
成果物	展示パネル（A1サイズ）

2008年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

【実践プログラム③】

タイトル	東京都工高生作品展
実施月日（曜日）	11月26日～28日
実施場所	新宿モノリスビル
担当者または講師	担当者・講師等の区分：担当者 氏 名：榎本吉晃 所属・役職等：安田学園 教諭
所要時間または 「コマ数×単位時間」	
プログラムの カテゴリ、形式	クラブ活動
活動目的	カ：防災に関する知識を深める
達成目標	一般の方々に耐震の必要性を理解してもらう
実践方法・進め方 （箇条書き、または フロー）	1. 写真、図表などの資料集め 2. プレゼンテーションソフトにてパネル化 3. 安田学園のブースにて展示
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	・ プレゼンテーションソフト ・ 大判プリンタ ・ パネル
参加人数	5名
経費の総額・内訳概要	実践プログラム②と併用
成果と課題	【成果】耐震補強の大切さ、重要性を表現することが出来た。 【課題】より多くの人々に見てもらう必要がある。
成果物	課題研究部門において、最優秀賞を受賞

2008年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

【実践プログラム④】

タイトル	八広3丁目丸ごと診断
実施月日（曜日）	1月8日
実施場所	墨田区八広3丁目
担当者または講師	担当者・講師等の区分：担当者 氏 名：榎本吉晃 所属・役職等：安田学園 教諭
所要時間または 「コマ数×単位時間」	
プログラムの カテゴリ、形式	クラブ活動
活動目的	災害に強い地域をつくる
達成目標	木造耐震診断の必要性を広める
実践方法・進め方 (箇条書き、または フロー)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 八広3丁目の建築物全ての外観目視検査 2. データ整理 3. 調査結果および耐震診断を勧めるチラシ作成 4. チラシ配布 5. 希望者に対して木造耐震診断を実施
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査用紙 ・ プレゼンテーションソフト ・ 耐震診断ソフト ・ 表計算ソフト ・ 耐震診断器具一式
参加人数	5名
経費の総額・内訳概要	3万円程度・プリンタインク、プリンタ用紙、交通費
成果と課題	<p>【成果】 調査結果および耐震診断を勧めるチラシを作成し、木造家屋に配布</p> <p>【課題】 木造耐震診断を希望する人が出てこない</p>
成果物	調査結果および耐震診断を勧めるチラシ

2008年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

4. 苦勞した点・工夫した点

<p>プランの立案 と調整で 苦勞した点 工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践プログラム①において、耐震診断をさせていただく物件を探すのに苦勞した。結果的にすみだ耐震協の協力を得て物件を紹介していただいた。 ・実践プログラム④において、外観による木造、非木造の判断をつけられない生徒がいたため、現地でレクチャーした。
<p>準備活動で 苦勞した点 工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期以降に活動を行ったものについて、屋外の調査のため日没が早く、計画通りに実行出来なかった。 ・調査物件が古く、製図が残っていないため、筋交いの有無の判断に困った。
<p>実践に 当たって 苦勞した点 工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践プログラム①において、一般の方に耐震内容を説明するため、なるべく専門用語を使わず、わかりやすい言葉に言い換えて説明した。 ・実践プログラム②、③において、重要な内容を表現しながらもある程度わかりやすい表現にする必要があったため、パネル構成に苦勞した。 ・実践プログラム④において、データをどのように整理し、まとめるかが苦勞した。結果的に、視覚的にわかりやすいグラフを用いる事にした。

2008年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

5. 他の団体、地域との連携

協力・連携先の分類	団体名、組織名	協力・連携の内容
学校・教育関係・ 同窓会組織		
保護者・ PTAの組織		
地域組織	八広3丁目町会	町会丸ごと耐震診断実施 の許可
国・地方公共団体・ 公共施設		
企業・ 産業関連の組合等	墨田耐震補強推進協議会	町会長さんを紹介、木造耐 震診断のレクチャー
ボランティア団体・ NPO法人・NGO 等		
職業、職能団体・ 学術組織、学会等		

2008年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

6. 成果と課題（実践したプラン全般について）

<p>成果として 得たこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に直接関わったクラブ員は耐震の必要性を十分に感じ取ることが出来たように思います。 ・すみだ耐震補強推進協議会（すみだ耐震協）の協力、アドバイスを受ける事が出来たのは生徒にとっても良い勉強になり、物件を紹介していただいた事は大変感謝しています。
<p>全体の反省・ 感想・課題</p>	<p>クラブ員は耐震の必要性を十分に感じ取ることが出来た反面、地域住民に十分伝えることが出来なかった部分があるように思います。また、耐震は必要であると理解していただきながらも木造耐震診断を実行するには至らなかったという結果が大半でした。</p>
<p>今後の 継続予定</p>	<p>引き続き、他の町会を診断し、将来的にはある程度まとまったデータが出来た時点で墨田区長に何らかの形で伝えられたら良いと思います。</p>

2008年度防災教育チャレンジプラン 最終報告書

7. 自由記述欄 ①

- ※ 防災教育の実践で得られた知見、防災教育の普及に関わる提案等を盛り込んでください。
- ※ そのほかは、1～7で記述が不足した事項、参考資料、写真等を自由に記述してください。
- ※ 3枚以内を目安に記述してください。